

後世に伝えたい日本の伝統 ジャパトラ

Japatra

JAPANESE TRADITIONAL



壮大華麗な夜 青森が燃ゆる

Contents

- 1 青森のねぶた・ねぶた・立佞武多
- 7 職人を次世代でも憧れる職業へ
- 9 絆を継ぐ大黒柱の家
- 13 「番匠師」 蓑島健太郎氏(後編)
- 17 TOUCH WOOD!
- 19 古民家が日本を元気にする
- 21 匠主RUN
- 22 未来へつなぐ
- 23 法律の羽根
- 24 ロングステイの力
- 25 「移住物語」大分県 荒木智雄氏
- 27 連載小説「木は生きている」作・森久美子
- 33 住宅の疑問
- 34 親子で読む住教育のページ
- 35 古民家鑑定士のおすすめ物件情報

8

葉月

古民家が日本を元気にする

— Vol.8 —

【古民家再生に日本が誇る「ものづくり」の力を】

このコーナーでは、未来の子どもたちのために古民家で国を元気にしていく日本のリーダーの想いと、一般社団法人全国古民家再生協会各支部からの事例を併せてご紹介します。



参議院議員
古民家再生議員連盟
おおいえ さとし
大家 敏志氏

資源に乏しい日本の最大の財産は人です。努力を惜しまない勤勉な人々が創意工夫を凝らし「ものづくり」を極めてきたからこそ、今の豊かな暮らしがあります。初めて見たものに感動する心、解明したくなる好奇心、作りたいと思う挑戦心、完成するまであきらめない心は、日本人のDNAに組み込まれていると思います。

木や草、紙といった日本に古くからある材料を匠の技で精緻に組み立て、気候風土に適応した住宅を作ることにも、この「ものづくり」の力は活かされています。伝統的な家屋は我々日本人に元気を与えてくれます。家族みんなで食卓を囲み、テレビを見ながらリラックスするには畳が一番、ポカポカ陽気に庭を眺め、お茶を頂くには縁側が最高、一日の疲れを癒やすのは湯船につかれる風呂でなくてはなりません。私たちは、日本家屋でのそんなひと時に幸せを感じるのではないのでしょうか。

日本の木造建築の美しさは世界に誇れるものです。外国からの

旅行者は、有名な観光名所を巡る旅から、日本文化を経験できる古民家での宿泊、農業や伝統工芸の体験の旅にシフトしてきています。先人が長く守り続けてきた伝統的な日本家屋である「古民家」を再生させることは、その技術や家に対する思いを未来に受け継ぐだけではなく、観光拠点として、また、地域の人の集まる場として、町全体、村全体を元気にするものです。

いま、茅葺き屋根や年代物の柱、美しい土塀などを持つ「古民家」を宿泊施設やレストランに再生させる取り組みが各地でおこなわれています。日本の原風景を国内外の旅行者に楽しんでもらう機会を作り、地方創生の新たな礎のひとつとなるものです。観光地として再生するにつれて、耕作放棄地の解消やUターンの増加といった波及効果も大いに期待されます。

私の地元福岡県においても、うきは市では、豊後街道の宿駅として栄えた白壁土蔵づくりの伝統

的な景観の保存と、現代の生活の利便性を両立させる街並み環境整備が目指されています。また、直方市では、古民家を活用して観光交流センターとして整備し、「直方レトロタウンエリア」の拠点とする事業もあります。

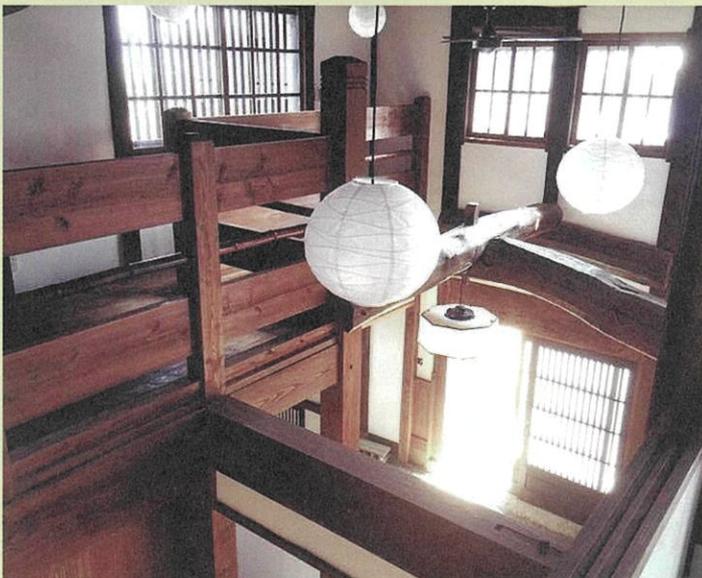
我が国が世界に誇る「ものづくり」。日本がこれまで培ってきたこの力を活かすのは、我々日本人の姿勢にかかっています。古民家の再生によって、地域の一層の発展と伝統を大切にする心が次世代に継承されることを心から願っています。

古民家再生議員連盟
自由民主党副幹事長 参院幹事長特別補佐
参議院議員

おおいえ さとし
大家 敏志氏

昭和42年7月17日 福岡県北九州市生まれ
久留米大学附設中・高、北九州大学法学部 卒業
平成11年 福岡県議会議員 当選(以降連続3期)
平成22年 参議院議員 当選
平成26年 財務大臣政務官
(第2次安倍改造内閣・第3次安倍内閣)
平成28年 財政金融委員長
平成28年 参議院議員 再選
現在 自由民主党副幹事長 参院幹事長特別補佐
古民家再生議員連盟

福岡の古民家再築



藁屋根の差し替え

北九州市出身の参議院議員
大家 敏志氏には、ご多忙中にもかかわらず、昨年の古民家再生議員連盟設立当初より、「福岡県のみならず全国の皆様のためになるなら」と快く参加頂き、心より感謝申し上げます。

福岡県は九州の玄関口として豊富な海産物が獲れる玄界灘・響灘・有明海、山岳信仰の聖地として名高い霊峰英彦山を代表と

する筑紫山脈、筑紫次郎とも呼ばれる河川筑後川、その側には九州最大の筑紫平野が広がり、また数多くの遺跡が発掘されています。

しかし人口五百万人を抱える福岡県ですが、三百五十万人は福岡市・北九州市とその周辺の地域に集中し、伝建地区を含め古民家が多く現存する筑後・筑豊地区は過疎化が進んでいます。

そんな中、一般社団法人全国古

民家再生協会では、古き

良き日本の

原風景を残

すため古民

家の再築、古

民家鑑定、

伝統耐震診

断及び床下インスペクションなどの

調査をおこなっています。また住

教育や古民家フォト甲子園など

を通じ住まい手に寄り添った活

動、大工育成など、行政や地域住

民の協力を頂き、町おこしなどを

通じて地域の歴史を残した古民

家の掘り起し、伝統ある祭りの継

承など、県内の三支部一丸となり

連携し、未来の子ども達へ時代を

越え受け継がれていけるものを一

つでも多く残すため気を引き締

めて協会の活動をおこなってい

たいと思います。



一般社団法人全国古民家再生協会
福岡第三支部 支部長
やまぐち建設 代表

やまぐち のぼる
山口 昇氏

〒807-1312
福岡県鞍手郡鞍手町中山2379-4
TEL 0949-42-8600
FAX 0949-42-8628
<http://www.kominka-fukuohoku.org/>

